

1 研究構想（令和5年度）

瑞穂市立本田小学校

学校の教育目標

みつけ たすけあい やりぬく子

【学校課題】

- 自分の思いを相手に進んで伝えようとする事ができる。
- 仲間のよさを見つめることができる。
- 自分の思いを伝え、仲間と考えを深めるために議論する楽しさを実感している。
- △仲間の考えから自分の考えがどう変化したかを考え、深める力が十分とは言えない。
- △今までやこれからの自分について、自己を見つめる力に弱さが見られる。

【めざす子どもの姿】

共に生きる喜びをつくりだす子

- 互いに考えを伝え合い、よりよい生き方を追求し実践できる子
- 自己を見つめ、主体的に判断し、行動できる子

研究主題

共に生きる喜びをつくりだす子の育成

～仲間と共に自己の生き方について「考え・議論する」道徳の時間の在り方～

研究の仮説

全教育活動を通じた道徳教育を基とし、道徳の時間において児童が主体的・対話的に考え、議論しながら、自己の生き方について考えを深め合うことができるよう、発達段階に応じた手立てを講ずることで、「共に生きる喜びをつくりだす子」を育成することができる。

研究の内容

- 1 「考え、議論する道徳」を実現するための指導過程の工夫
 - ・児童の実態と思考の流れに即したねらいと展開について
 - ・発達段階に応じた「考え、議論する」手立てについて
- 2 自分自身の変容を実感できる「確かな自己理解」の実現するための自己みつめの在り方
 - ・自己の考えの変容を表出する活動の工夫
 - ・道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた意図的な指導・援助

